

## 2010年8月ベトナム経済事情

2010年9月

在ベトナム日本大使館経済班

### 1. 消費・投資等の需要動向

- 財貨・サービスの小売販売は、引き続き堅調な消費が続き、年初8か月で対前年同期比26.1%増の1,009兆ドンとなった。物価上昇の影響を除いた場合、同16.1%増であった。
- 輸出は、8月は対前月比0.5%減の60億ドルとなり、年初8か月では対前年同期比19.7%増の445億ドルであった。輸入は、8月は対前月比1.5%減の69億ドルとなり、年初8か月では対前年同期比24.4%増の527億ドルであった。8月の貿易収支は9億ドルの貿易赤字となり、年初8か月の累計は80.8億ドルの貿易赤字となった。
- 外国直接投資実行額は、年初8か月で対前年同期比3.6%増の72.5億ドルであった。認可額は同12.3%減の116億ドルで、うち新規投資は同41.0%増の108億ドル、追加投資は同85.8%減の7.9億ドルとなり、追加投資の大幅な減少が目立つ。日本はオランダ、韓国、米国に次ぎ第4位の投資額（認可ベース）となった。

### 2. 産業活動

- 農業は、稲の苗付面積は年初8か月では対前年同期比3.2%減となった。水産業は、漁獲高が同4.6%増となった。
- 鉱工業生産は、8月は対前月比1.4%増の69.5兆ドンとなり、年初8か月では対前年同期比13.7%増の504.2兆ドンとなった。

### 3. 物価及び金融情勢

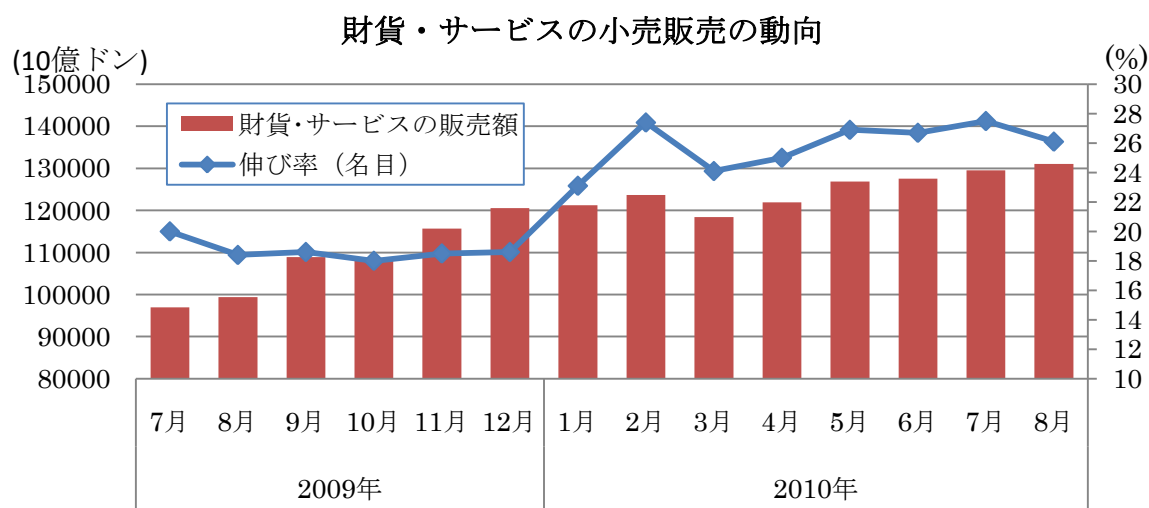
- 消費者物価指数は、対前月比0.23%増（対前年末比5.08%増）となり、小幅な上昇にとどまった。8月に入りガソリンの値上げ、ドンの切り下げがあり、9月以降の物価上昇が懸念される。
- 国家銀行は、9月の貸出基準金利の据え置き（8.0%）を決定した。
- 国家銀行は、8月17日にドンの対ドル基準レートを約2%切り下げ、1ドル=18,544ドンから18,932ドンとすると発表した（実施は18日から）。変動幅は±3%で変更なし（ただし、8月末現在、上限値である1ドル=19,500ドンで張り付いている状況。）。

## 1. 消費・投資等の需要動向

### (1) 財貨・サービスの小売販売の動向

堅調な消費を受けて、年初8か月の財貨・サービスの小売販売は対前年同期比26.1%増の1,009兆ドンとなった。物価上昇分を除いた実質伸び率は同16.1%であった。セクター別では構成比約3割を占める民間企業が同41.8%増、約5割を占める個人は同14.1%増となった。また、業種別では約8割を占める商業が同27.3%増と好調であった。

- 財貨・サービスの小売販売（年初8か月）：1,009兆ドン（対前年同期比26.1%増）
- セクター別（年初8か月の対前年同期比）：国営41.5%増、協同組織36.5%増、民間41.8%増、個人14.1%増、外資49.2%増
- 業種別（年初8か月の対前年同期比）：商業27.3%増、ホテル・レストラン21.5%増、観光35.4%増、サービス21.5%増



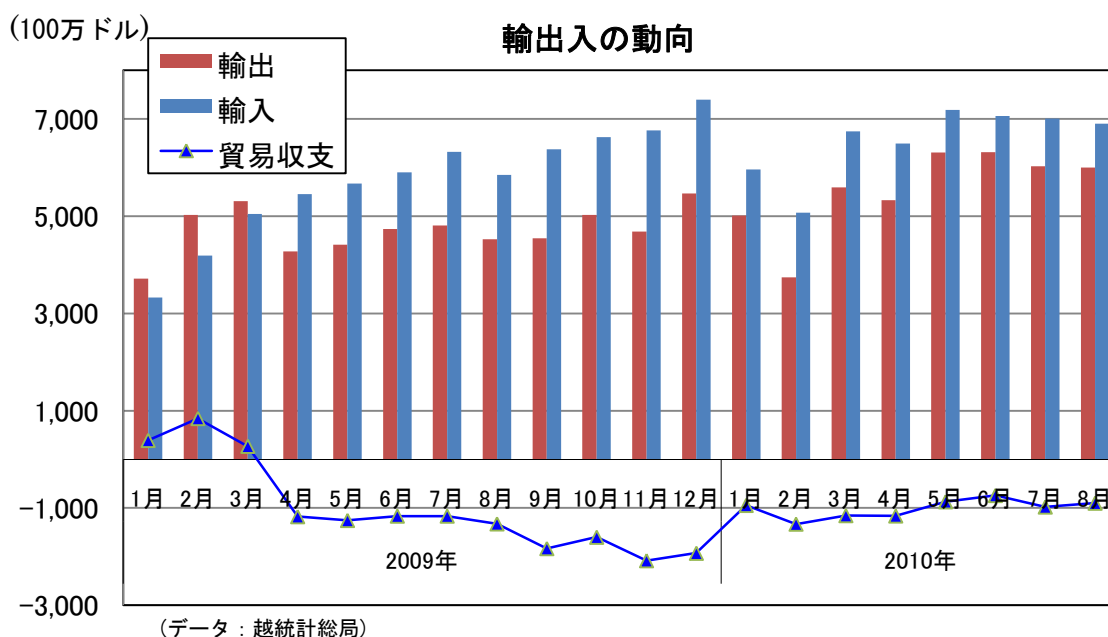
(データ：越統計総局)

### (2) 輸出入の動向

- **輸出**：8月の輸出額は対前月比0.5%減、対前年同月比32.7%増の60億ドルとなった。年初8か月の輸出額は対前年同期比19.7%増の445億ドルであった。主要輸出品目でみると、年初8か月では水産品（対前年同期比11.8%増）、木製品（同36.1%増）、縫製品（同17.8%増）、電子機器・コンピュータ（同30.2%増）、機械設備（同61.2%増）、鉄鋼（同220.8%増）等の輸出が好調であった一方で、原油（同10.5%減）、貴金属（同37.1%減）が減少している。セクター別では、ベトナム企業の輸出は対前年同期比12.6%増であるのに対し、外資企業の輸出は同26.6%増と世界経済の需要が回復基調であることを示している。
- **輸入**：8月の輸入額は対前月比1.5%減、対前年同月比18.0%増の69億ドルとなった。年初8か月の輸入額は対前年同期比24.4%増の527億ドルであった。主要輸入品目でみると、年初8か月ではプラスチック（対前年同期比38.1%増）、機械設備（同14.9%増）、電子機器・コンピュータ（同31.5%増）、布（同26.6%増）、鉄鋼（同22.9%増）等が輸入額増加に

寄与した。外資企業の輸入が同 43.6%増（ベトナム企業は同 13.2%増）と大幅に増加しており、外資企業の生産が活発な状態を示している。

- **貿易収支**：8月の貿易収支は9億ドルの赤字となり、年初8か月の累計では80.8億ドルとなった。年初8か月の貿易赤字額は、対2008年同期比48%減となっているものの、対前年同期比76%増となっている。



### (3) 投資の動向

- **国家予算投資**：8月の国家予算投資は年間計画比11.4%の14.3兆ドン、年初8か月では同73.7%の92.1兆ドンが執行された。
- **外国直接投資**：年初8か月の外国直接投資認可額は対前年同期比12.3%減の116億ドルであった。うち新規投資は同41%増の108億ドル、追加投資は同85.8%減の7.9億ドルで追加投資の大幅な減少が目立つ。実行額は同3.6%増の72.5億ドルであった。投資国（認可ベース）で見ると、オランダが1位、韓国が2位、米国が3位となっており、日本、台湾と続いている。8月の大型案件として、カマウ省での米企業によるガスパイプライン案件（7.7億ドル）が挙げられる。

## 2. 産業活動

### (1) 農林水産業

- **農業**：冬米の稲作面積は対前年同期比3.2%減となった。南部での夏米の収穫は同2.5%減で、メコンデルタ地域では、同1.3%増となった。
  - 作付（苗付）面積（年初8か月の対前年同期比）：とうもろこし11.0%増、さつまいも4.0%増、ピーナッツ11.0%減、大豆6.5%増、野菜・豆5.8%増
- **林業**：森林地帯は年初8か月で対前年同期比4.1%増の14万ヘクタールとなった。植林は

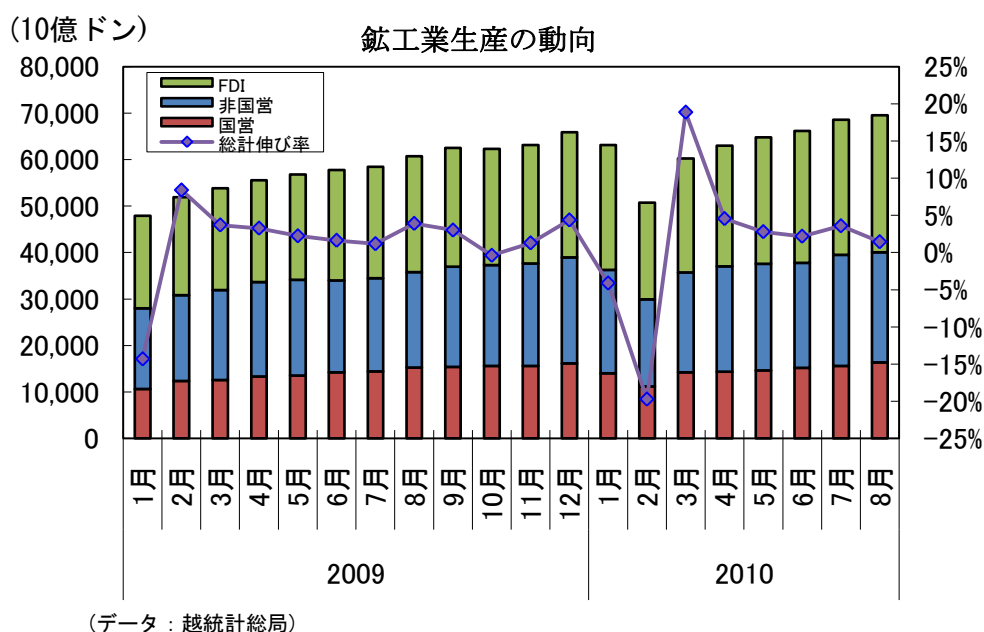
同 0.1%増、木材生産は同 6.0%増となった。

- **水産業**：年初 8 か月の総漁獲高は対前年同期比 4.6%増の 334 万 7,600 トンとなった。養殖漁獲高は同 4.9%増の 176 万 0,300 トンとなった。海洋漁獲高は同 4.2%増の 158 万 7,300 トンとなった。

## (2) 鉱工業生産

8 月の鉱工業生産は対前月比 1.4%増の 69.5 兆ドンとなり、年初 8 か月では対前年同期比 13.7%増の 504.2 兆ドンとなった。品目別では、ガラス(対前年同期比 24.3%増)、液化ガス(同 111.6%増)、二輪車(同 18.2%増)等が大幅に増加した。セクター別でみると、外資が同 17.3%増ともっとも増加しており、特に石油・ガスを除く外資が同 20.3%増と製造業・建設業の好況感を反映している。

- セクター別(年初 8 か月の対前年同期比)：国営 9.0%増、非国営 12.7%増、外資 17.3%増、全体 13.7%増



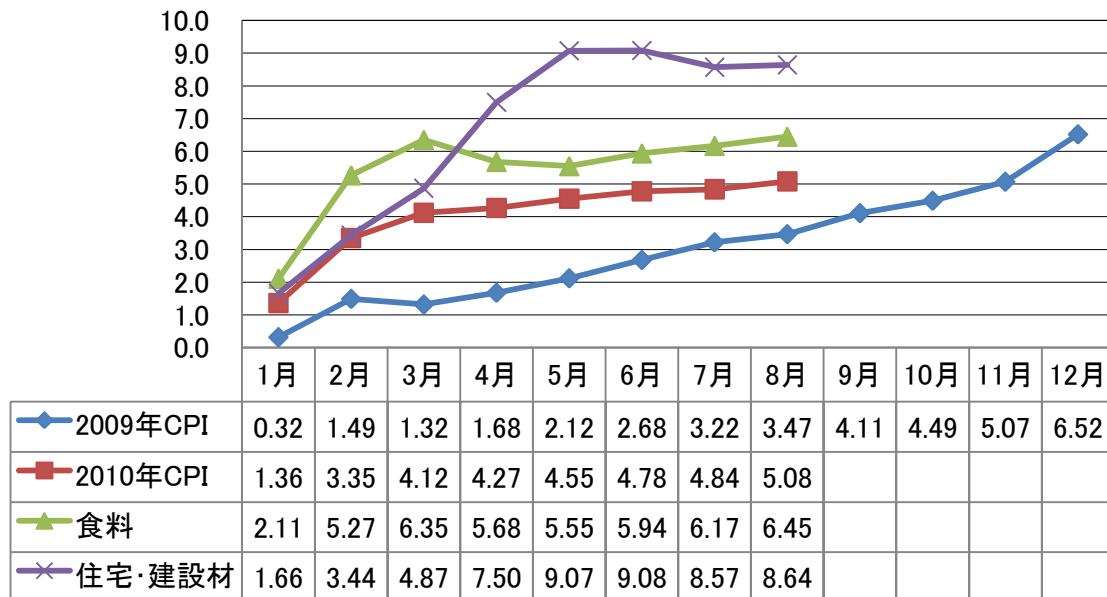
## 3. 物価と金融情勢

### (1) 消費者物価指数 (CPI)

8 月の消費者物価指数は、対前月比 0.23%増(対前年末比 5.08%増)となり、小幅な上昇にとどまった。8 月に入りガソリン及び調理用ガスの小売価格の値上げ、ドンの切下げがあり、9 月以降の物価上昇が懸念される。

項目別にみると、通信が対前月比 4.55%減と大幅な下落となり、その他の多くの項目は微増にとどまった。

(%) 消費者物価指数の推移(対前年末比)



(データ：越統計総局)

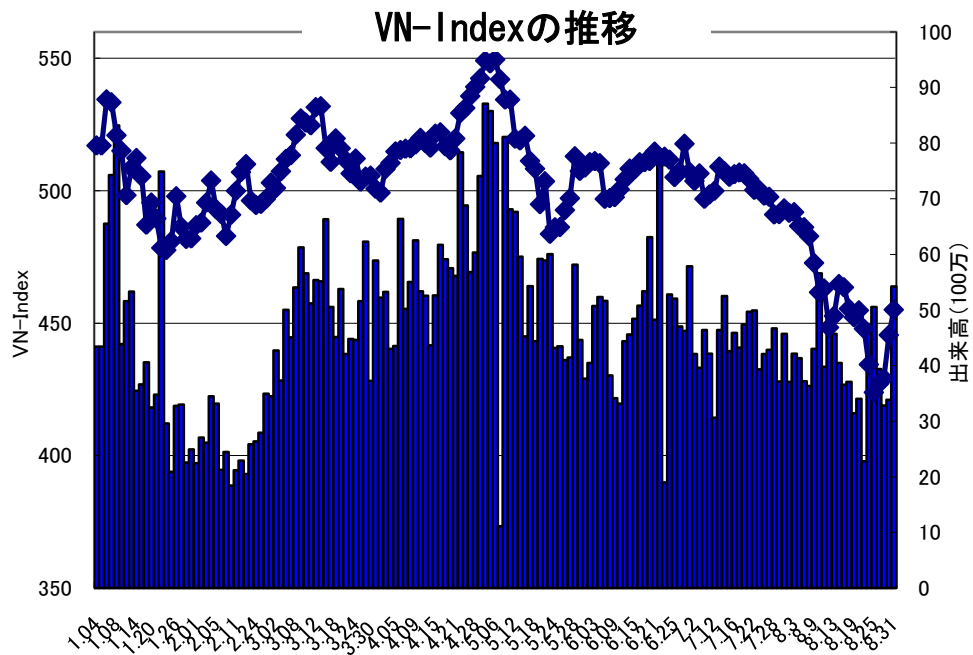
## (2) 金融情勢

### ◆ 金融

- 8月17日、国家銀行は、経常赤字の抑制のため、ドンの対ドル基準レートを約2%切り下げ、1ドル=18,544ドンから18,932ドンとすると発表した(実施は18日から)。変動幅は±3%で変更なし。
- 8月25日、国家銀行は9月の各種政策金利の据え置き(貸出基準レート：8.0%、ディスカウントレート：6%、リファイナンスレート：8%)を決定した。
- 7月末の流動性は、2009年末から12.96%増加。
- 7月末の信用残高は、2009年末から12.97%増加。

### ◆ 証券市場

ホーチミン証券取引所のVN-Indexは下落傾向にあり、8月26日には424ポイントと2009年5月以来の低い数値となった(8月末には455ポイントまで回復)。米国等、主要国の株式市場の下落、インフレ等、今後の経済への不安等が原因との報道あり。



(データ)ホーチミン証券取引所

#### ➤ 為替相場

上述のように、8月18日から対ドル基準レートは1ドル=18,544ドンから18,932ドンに切り下がった。切下げ直後は変動幅の範囲内(±3%)で推移していたものの、8月末現在、上限値である1ドル=19,500ドンで張り付いている状況。